

付録 日本外交文書 大正十五年第一冊 日付索引

大正十五年  
昭和元年

(西曆一九二六年)

第一冊 日付索引

一月

事項  
番号

文書  
番号

電信  
番号

頁

八 二二二 一月三日

二 在ソ連邦田中大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

チチエリンハスターリンノ演説ニ  
言及シ日本トノ親善關係ヲ強調セ  
ル件……………三〇三

付記一

大正十四年十二月十四日幣原外務大臣ヨリ在ソ連邦、在  
米各大使、在中國公使、在浦潮總領事各宛合第二二九号……………三〇四  
ソツイエト連邦ノ極東政策ニ関スル声明書公表ノ件  
大正十四年十二月十八日幣原外務大臣ヨリ在本邦ソ連邦  
大使宛覚書……………三〇四

三 大正十四年十二月二十三日在ハルビン天羽總領事ヨリ幣  
原外務大臣宛機密第二二三号……………三〇五

四 大正十五年二月一日在本邦中國公使ノ出淵次官來訪談要  
領……………三〇六

五 日露間「アグリーメント」交渉説ニ関スル件……………三〇六  
満州ニ関スル日露新協定問題(大正十五年一月、亜細亞  
局第一課調)……………三〇六

三 六六 一月六日(着) 一 在米國松平大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 軍縮準備會議參加ニ関スル米大統  
領教書ニツキ報告ノ件……………七六

三 六七 一月七日 一 幣原外務大臣ヨリ  
 在パリ杉村連盟事務局次長宛  
 (電報) 駐日ドイツ大使ヨリ幣原外務大臣  
 二軍縮準備委員会へノ招請受諾ニ  
 関スルエード・メモリアル手交ノ  
 件 七六

別電 同日幣原外務大臣宛杉村連盟事務局次長宛電報第二号  
 右エード・メモリアル要旨 七六

九 二一八 一月九日 一六 在ソ連邦田中大使ヨリ  
 幣原外務大臣宛(電報) 労働者ノ待遇等ニ関スル条件ヲ協  
 定シ調印ヲ了セル件 三一八

九 二三〇 一月十日 六 在ハバロフスク川角総領事代  
 理ヨリ 短期契約ニツキ交渉ノ結果マトマ  
 リタル条件報告ノ件 三二四

九 二三一 一月十一日 三九 歐一機密  
 三九 門野露領林業組合長宛 林業利権ニツキ速カニ契約ヲ希望  
 ストノチチェリンノ談話ニ関スル  
 田中大使ノ報告内報ノ件 三二四

五 一五一 一月十五日 機密公  
 二一 在ロス・アンゼルス大橋領事  
 幣原外務大臣宛 トノ米関係問題ヲ中心トスルハース  
 トトノ会談報告ノ件 一六四

九 二二二 一月十五日 門野露領林業組合長ヨリ  
 広田欧米局長宛 林業利権契約ノタメ派遣スル代表  
 等ノ氏名通報及ビヤンソンノ交渉  
 権限ニツキ問合せノ件 三二五

一三 三六五 一月十六日 一三 在ハルビン天羽総領事ヨリ  
 幣原外務大臣宛(電報) 護路軍ノ東支鉄道運賃支払方法ヲ  
 繞ル運行停止ニ関シ報告ノ件 四五八

一三 三六六 一月十七日 四 在長春梁原領事ヨリ  
 幣原外務大臣宛(電報) 奉天出征吉黒軍ノ掃選部隊引揚ノ  
 際、輸送運賃ノ未払ヲ繞リ奉ソ間  
 紛擾ノ件 四五八

一三 三六七 一月十七日 一四 在ハルビン天羽総領事ヨリ  
 幣原外務大臣宛(電報) 長春ハルビン間ノ貨物旅客列車ノ  
 運行停止及ビ領事団ノ抗議ニツキ  
 報告ノ件 四五九

一三 三六八 一月十八日 七 在長春梁原領事ヨリ  
 幣原外務大臣宛(電報) グラントソ連邦総領事ト中国側ト  
 ノ交渉決裂シ東支鉄道全線ノ運行  
 停止シタル旨ノ情報報告ノ件 四五九

一〇 二五一 一月十九日 公一四 在ハバロフスク川角総領事代  
 理ヨリ 漁業競売計画ニ関スル極東革命委  
 員会機関紙ノ報道ニツキ報告ノ件 三四三

一三 三六九 一月十九日 一五 在ハルビン天羽総領事ヨリ  
 幣原外務大臣宛(電報) 東支鉄道南線運行停止問題ヲ繞ル  
 張煥相護路軍司令、イワノフ管理  
 局長双方ノ思惑ニツイテ観測報告  
 ノ件 四六〇

一三 三七〇 一月十九日 九 在長春梁原領事ヨリ  
 幣原外務大臣宛(電報) 張煥相ノ旅客列車運轉再開指令ニ  
 モ拘ラズイワノフ局長ノ致命ニ依  
 リ寛城子駅長発車ヲ見合ワセタル  
 旨報告ノ件 四六一

一三 三七一 一月十九日 二九 在奉天吉田総領事ヨリ  
 幣原外務大臣宛(電報) 東支鉄道運轉中止問題ニ関スル楊  
 宇霆ノ談話報告ノ件 四六一

一三 三七二 一月十九日 支二九 在中國公使館付本庄陸軍武官  
 ヨリ 在ソ連邦ノ北滿駐兵權保持ニ対スル  
 在中國ソ連邦大使館付エゴロフ武  
 官及ビカラハン大使ノ意向ニ関シ  
 報告ノ件 四六三

一三 三七三 一月十九日 機密公  
 二二 在長春梁原領事ヨリ 寛城子駅ニ於ケル停車事件ノ真相  
 報告ノ件 四六三

一三 三七四 一月十九日 木村重細郵局長 會談  
 米國大使館員 東支鉄道輸送問題ニ関スル中ソ衝  
 突ニツイテノ会談要領 四六五

一三 三七五 一月二十一日(着) 四〇 在中國芳次公使ヨリ  
 幣原外務大臣宛(電報) カラハンヨリ外交部ニ対シ抗議文  
 ヲ提出シタル旨報告ノ件 四六六

別電 一月二十一日在中國芳次公使ヨリ幣原外務大臣宛電報第四  
 一号 四六七

カラハンノ外交部ニ対スル抗議文末段

一三	三七六	一月二十一日(着)	三三	在奉天吉田総領事(電報)	在ハルビン天羽総領事(電報)	東支鉄道運行ニ関シ張作霖ノ訓令ニ基ツキ積極的政策ニ出デントスル張煥相ノ談話報告ノ件	四六八
一三	三七七	一月二十一日(着)	一六	在ハルビン天羽総領事(電報)	在ハルビン天羽総領事(電報)	東支鉄道運行ニ於ケル張煥相ノ中国側ノ立場説明ニツキ報告ノ件	四六九
一三	三七八	一月二十一日(着)	一八	在ハルビン天羽総領事(電報)	在ハルビン天羽総領事(電報)	東支鉄道南部線運行問題解決方法ニ関スル私見ヲ領事団會議ニ於テ提議シタル旨報告ノ件	四七〇
一三	三七九	一月二十一日	一九	在ハルビン天羽総領事(電報)	在ハルビン天羽総領事(電報)	東支鉄道運行停止ニ伴ウ損害賠償請求ノ方針ニツキ請訓ノ件	四七一
一三	三八〇	一月二十一日	二〇	在ハルビン天羽総領事(電報)	在ハルビン天羽総領事(電報)	東支鉄道ニ於ケル中ソ紛争ニ関シ報告ノ件	四七一
一三	三八一	一月二十一日	機密公 二四	在長春栗原領事(電報)	在長春栗原領事(電報)	中国側ノ武力的態度ニ対抗シ赤軍ニ依ル東支沿線武力占領等寛城子共産黨員ノ言動報告ノ件	四七三
一三	三八二	一月二十一日	機密公 二五	在長春栗原領事(電報)	在長春栗原領事(電報)	在東京商業代表部事務開始ノ公告ニツキ報告ノ件	四七四
七	一九九	一月二十二日	三一	在浦潮渡辺総領事(電報)	在浦潮渡辺総領事(電報)	東支鉄道ノ中国軍隊輸送問題ニ関スルカラハントノ會談内容報告ノ件	四七五
一三	三八三	一月二十二日	四五	在中国芳沢公使(電報)	在中國芳沢公使(電報)	イワノフノ作業停止命令ノ結果中国側ガ強行運転及ビ切符ノ発売ヲ手配中ナル旨報告ノ件	四七六
一三	三八四	一月二十二日	一四	在長春栗原領事(電報)	在長春栗原領事(電報)	イワノフヲ捕縛スルコトニ決定シタル旨ノ張煥相ノ内話報告ノ件	四七六
一三	三八五	一月二十二日	二二	在ハルビン天羽総領事(電報)	在ハルビン天羽総領事(電報)	イワノフヲ逮捕ニ依リ事態益々紛糾スルト観測サレル件	四七六
一三	三八六	一月二十二日	二三	在ハルビン天羽総領事(電報)	在ハルビン天羽総領事(電報)	東支鉄道問題ニ関スル在奉天吉田総領事ト張作霖トノ談合ハ事態ノ推移ヲ見届ケタル後ニセラレタキ旨意見具申ノ件	四七七
一三	三八七	一月二十二日	二四	在ハルビン天羽総領事(電報)	在ハルビン天羽総領事(電報)	新聞紙上ニ発表セラレタルチエリンノ段執政宛イワノフノ逮捕等ニ対スル嚴重抗議電報告ノ件	四七七
一三	三八八	一月二十三日	三六	在ソ連邦田中大使(電報)	在ソ連邦田中大使(電報)	東支鉄道問題ニ関スル張作霖トノ會談内容報告ノ件	四七八
一三	三八九	一月二十三日	三九	在奉天吉田総領事(電報)	在奉天吉田総領事(電報)	華府會議關係領事ノ非公式會議中モタラサレタルソ連邦軍侵入ノ情報ニ関シ報告ノ件	四七九
一三	三九〇	一月二十三日	二五	在ハルビン天羽総領事(電報)	在ハルビン天羽総領事(電報)	護路軍輸送問題ノ解決妥協策等ノ斡旋ニ関スル在奉天吉田総領事宛回答電ノ件	四七九
一三	三九一	一月二十三日	二七	在ハルビン天羽総領事(電報)	在ハルビン天羽総領事(電報)	在滿邦商ノ損失甚大ニツキ東支鐵道問題ヲ速ヤカニ解決セシメ賠償措置ヲ講ゼラレタキ旨請願ノ件	四八一
一三	三九二	一月二十三日	長春商業會議所島奈会頭(電報)	長春商業會議所島奈会頭(電報)	損害賠償請求ノ方針ニツキ回訓ノ件	四八二	
一三	三九三	一月二十三日	九	在ハルビン天羽総領事(電報)	在ハルビン天羽総領事(電報)	東支鉄道運行停止問題ニ対スル各領事ノ意見回電方指示ノ件	四八二
一三	三九四	一月二十三日	一一	在ハルビン天羽総領事(電報)	在ハルビン天羽総領事(電報)	東支鉄道問題ニ関シ中ソ兩國間ニ在シテ行動ノ必要アル場合ハルビン領事団ニ於テ措置スルコト適當ト認メラレル旨指示ノ件	四八二
一三	三九五	一月二十三日	一五	在奉天吉田総領事(電報)	在奉天吉田総領事(電報)		

付記一

東支鉄道ニ関スル中ノ紛争ニ対スル帝國ノ態度並ビニ方  
針ニ就テ(一月作成、亜細亜局私見其ノ一)……………四八二

二 東支鉄道ニ関スル中ノ紛争ニ対スル帝國ノ態度方針ニ就  
テ(一月二十三日作成、亜細亜局私見其ノ二)……………四八五

三 一月二十五日亜細亜局長室ニ於ケル陸、海、外ノ四局長  
會議要録……………四八六

出洲外務次官會談

東支鉄道問題ニ関スル出洲外務次官トコップ大使トノ會談要領(一)……………四八九

在ソ連邦田中大使ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

チチュリンヨリ東支鉄道問題ニ対スル日本ノ態度乃至意向ヲ承知シタキ旨申出アリタル件……………四九一

在長春栗原領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

列車運行未定状況及ビ軍隊輸送一段落シタル旨報告ノ件……………四九二

在ハルビン天羽總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

東支鉄道問題ヲ繞リソ連邦ノ軍事介入ノ予測ニ関シ報告ノ件……………四九三

在ハルビン天羽總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

東支問題解決ノ措置ヲ繞ル張煥相ノ古沢滿鐵事務所長ヘノ内話ニ関スル件……………四九四

在北京坂西中将ヨリ金谷參謀次長宛(電報)

カラハンノ張作霖、張煥相処置ノ要求ニ対スル中央政府ノ反応ニ関シ報告ノ件……………四九四

在奉天吉田總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

東支鉄道問題ニ関シソ連邦總領事張作霖會談ノ結果妥協成立シタル旨ノソ連邦總領事館秘書ノ談話報告ノ件……………四九五

在ハルビン天羽總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

イワノフ釈放ニ関スル張煥相ノ通告報告ノ件……………四九六

在ハルビン天羽總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

東支鉄道問題ニ関スル領事團會議ニ於ケル各國領事ノ意見主張詳細報告ノ件……………四九六

出洲外務次官會談

東支鉄道問題ニ関スル出洲外務次官トコップ大使トノ會談要領……………四九八

在ハルビン天羽總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

イワノフノ管理局長復帰及ビ列車運行状況ニ関シ報告ノ件……………五〇二

在ハルビン天羽總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

英國領事ノ對ソ意見ニツキ報告ノ件……………五〇二

在奉天吉田總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

東支鉄道問題解決ニ件ウ奉天側ノ國民軍對策ニツキ報告ノ件……………五〇二

在中國芳沢公使ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

中国側ノ反ソ態度ニ鑑ミ調停等今暫ク見合セタキ旨意見具申ノ件……………五〇三

在ハルビン天羽總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

ポーランドノ常任理事選任ニ関シ伊国大使ヨリ打診ノ件……………一六

付記一 最近常任理事被選ノ希望ヲ申出テタル国及ビ之ニ対スル我方ノ態度

大正十四年十二月三十日在仏国石井大使ヨリ幣原外務大臣宛機密公信連本公第四三号……………一八

連盟理事会増員問題ノ経緯報告ノ件

北滿ニ於ケル日ソ兩國ノ地位ニツキ兩國当局者間ニ隔意ナキ談合ヲ必要トスル旨意見具申ノ件……………五〇四

在ハルビン天羽總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

大正十五年度漁区表、競売期日等ニツキ報告ノ件……………三四三

在ハバロフスク川角總領事代理ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

大正十五年度漁区表、競売期日等ニツキ報告ノ件……………三四三

一三 四一一 一月二十八日 四四 在ソ連那田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………五〇六

一三 四一二 一月二十八日 五 幣原外務大臣ヨリ 在ハバロフスク川角総領事代理宛(電報)……………五〇六

五 一五二 一月二十九日 機密公 領事ヨリ 在サン・フランシスコ武富総領事ヨリ 幣原外務大臣宛……………一六五

一三 四一三 一月二十九日 二〇 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………五〇七

一三 四一四 一月二十九日 四三 在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………五〇七

一〇 二五三 一月三十日 二二 ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………三四四

一三 四一五 一月三十日 五二 在奉天吉田總領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………五〇七

一三 四一六 一月三十日 機密公 六五 在奉天吉田總領事ヨリ 幣原外務大臣宛……………五〇八

付屬書 東支鉄道ニ関スル張作霖及ビ于沖漢ノ談話要領……………五〇八

一一 月

七 二〇〇 二月一日 二五 幣原外務大臣ヨリ 在浦潮渡辺総領事宛(電報)……………二四五

一三 四一七 二月一日 出淵外務次官會談 出淵外務次官會談……………五一〇

七 二〇一 二月二日 通一機密 五八 出淵外務次官ヨリ 出淵外務次官ヨリ……………二四六

一〇 二五四 二月三日 通二機密 二六 出淵外務次官ヨリ 湯淺朝鮮總督府政務總監宛……………三四四

付記 大正十四年十二月二十四日付齋藤朝鮮總督發大塚鎮海要港部司令官宛殖秘第三七号 鍊買出船保護申請ニ関スル件……………三四五

三 六八 二月四日 連三〇 在パリ杉村連盟事務局次長ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………七七

一〇 二五五 二月五日 發一一 露領水産組合長ヨリ 外務省通商局長宛……………三四六

一三 四一八 二月五日 三三 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………五一〇

一三 四一九 二月八日 機密四九 在浦潮渡辺総領事ヨリ 幣原外務大臣宛……………五一一

四 一二四 二月十日 三八 在仏國石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………一三三

四 一二五 二月十日 三九 在仏國石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………一三四

四 一二六 二月十日 四〇 在仏国石井大使ヨリ 決主義ノ事情請訓ノ件……………一三四

一二 三五七 二月十日 普通五二 在ニュー・ヨーク斎藤総領事 米國ノ露國承認ニ対スルトロツキ 駁記事送付ノ件……………四四八

一〇 二五六 二月十三日 発二一 露領水産組合組長ヨリ 漁区開設ニ関スルソ連側トノ交渉 状況ニツキ報告ノ件……………三四九

二 一四 二月十五日(着) 二二 在ベルギー国安達大使ヨリ ポーランド等ノ常任理事選任ニ対 スルベルギー外相ノ意向報告ノ件……………二〇

三 六九 二月十五日 機密二二 在ソ連大使館付真崎海軍武官 ヨリ 軍縮會議ニ対スルソ連外務人民委 員会チチュエリンノ回答要旨報告ノ 件……………七八

二 一五 二月十六日(着) 九 在スウェーデン国永井公使ヨ リ ポーランド等ノ常任理事昇任問題 ニ関シスウェーデン政府ノ態度報 告ノ件……………二二

二 一六 二月十七日(着) 連四五 在パリ杉村連盟事務局次長ヨ リ 常任理事増員問題ニ対スル我が方 ノ態度ニツキ重ネテ請訓ノ件……………二二

二 一七 二月十八日(着) 連四七 在パリ杉村連盟事務局次長ヨ リ ドイツハ常任理事増員ニ反対ナル 旨ノ駐仏ドイツ大使ノ談話報告ノ 件……………二二

付 記 國際連盟理事会常任理事増員問題ニ関シドイツ大使来訪ノ 件……………二三

五 一五三 二月十八日 公七一 在ホノルル青木総領事ヨリ 幣原外務大臣宛 幣原外相ノ帝國議會ニ於ケル米國 移民法ニ関スル答弁ニ対スル当地 新聞論評報告ノ件……………一六六

二 一八 二月十九日(着) 二三 在伊國落合大使ヨリ 望ヲ贊助セル事情ニツキ報告ノ件……………二四

二 一九 二月十九日(着) 三六 在英国松井大使ヨリ ナル旨報告ノ件……………二五

二 二〇 二月十九日 二八 幣原外務大臣ヨリ 常任理事増員問題ニ対スル我が方 ノ方針ニツキ訓令ノ件……………二六

付 記一 國際連盟理事会常任理事選任ニ関シ二月十七日ポーラン ド公使来話ノ件……………二六  
二 同伴ニ関シ二月二十三日ポーランド公使来話ノ件……………二七

二 二二 二月二十日(着) 連五〇 在パリ杉村連盟事務局次長ヨ リ 幣原外務大臣宛(電報)……………二九

一〇 二五七 二月二十一日 五二 在ハバロフスク川角総領事代 極革ハ既ニ發表シタル漁区ノ他追 加セザル意向ナルモ当業者ノ希望 スル漁区ニツイテハ漁業庁ニ申入 ルル様答弁シタル旨報告ノ件……………三五〇

二 二二 二月二十二日 一五 在ブラジル国田村大使ヨリ 連盟ノ常任理事増員ニ対スルブラ ジルノ態度ニ関シ同国外相トノ會 談要領報告ノ件……………三〇

二 二三 二月二十四日 二〇 幣原外務大臣ヨリ 連盟ノ常任理事増員ニ關スル応答 方針令ノ件……………三〇

一〇 二五八 二月二十四日 五四 在ハバロフスク川角総領事代 連盟ノ常任理事増員ニ關スルブラ ジルノ態度ニ関シ同国外相トノ會 談要領報告ノ件……………三〇

一三 四二〇 二月二十五日(着) 八一 在ソ連邦田村大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………三〇  
将来東支鉄道ニ問題發生ノ場合ノ 対処方針等ニツキ回訓方稟請ノ件……………五二二

二 二四 二月二十六日 三一 幣原外務大臣ヨリ在パリ杉村連盟事務局次長宛(電報) 中国ノ常任理事選任ニツキ支持ヲ得タキ旨在本邦中国公使ヨリ申出アリタル件……………三一

一〇 二五九 二月二十六日 一三 幣原外務大臣ヨリ在ハバロフスク川角総領事代理宛(電報) 競売ノ期日切迫ノタメ邦人出願漁区中何カ所ナリトモ至急開設方交渉スル様訓令ノ件……………三五二

一〇 二六〇 二月二十六日 五五 幣原外務大臣宛(電報) 追加漁区発表ニツキ重ネテ極革ニ申入レタルモ追加発表ノ見込ナキ旨報告ノ件……………三五二

一三 四二一 二月二十六日 四八 幣原外務大臣ヨリ在ソ連邦田中大使宛(電報) 将来ノ東支鉄道問題ノ処理方針等ニツキ回訓ノ件……………五一一

付記 二月亜細亞局第一課調 東支鉄道ニ関スル政治的の考察……………五二四

二 二五 二月二十七日(着) 連五七 在パリ杉村連盟事務局次長ヨリ幣原外務大臣宛(電報) 常任理事増員問題ニ関シ石井理事ヨリ意見具申ノ件……………三一

二 二六 二月二十七日(着) 八 在スペイン国太田公使ヨリ幣原外務大臣宛(電報) スペインノ常任理事加入問題ニツキ我が方ノ方針ヲスペイン外相ニ開陳シタル件……………三二

二 二七 二月二十七日 一〇 在スペイン国太田公使ヨリ幣原外務大臣宛(電報) 常任理事問題ニ関スルスペイン外相ノ声明ニ関スル件……………三三

四 一二七 二月二十七日 四二 幣原外務大臣ヨリ在仏国石井大使宛(電報) 税率問題先決主義ヲ承諾シタルコトナキ旨回答及ビ協定ノ形式等条約一般ノ交渉方針訓令ノ件……………一三五

一〇 二六一 二月二十八日 五六 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ幣原外務大臣宛(電報) 漁区追加及ビ鱈漁区削除ニ関シソ連側トノ交渉結果報告ノ件……………三五二

三 月

一〇 二六二 三月二日 公九四 在浦潮渡辺総領事ヨリ幣原外務大臣宛 漁場ニ於ケル外國労働者ノ雇傭ニツイテノ極東革命委員会ノ強制命令ニ関スル件……………三五二

七 二〇二 三月三日(着) 六五 在浦潮渡辺総領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報) 貿易代表部設置交渉ノ経過照会及ビ國營商業部員ノ査証ノ取扱ニツキ請訓ノ件……………二四六

一〇 二六三 三月三日 五九 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ幣原外務大臣宛(電報) 漁区追加等ニ関スル当業者代表ノソ連側トノ交渉結果報告ノ件……………三五三

三 七〇 三月四日 三六 在パリ杉村連盟事務局次長宛(電報) 軍縮問題中海軍事項ニ関シ指示ノ件……………七九

一〇 二六四 三月五日 三八 幣原外務大臣ヨリ在浦潮渡辺総領事宛(電報) 十四日ノ競売ニ参加者ナキ見込ニツキ長尾ニ代理入札方指示ノ件……………三五四

一三 四二二 三月五日 四〇 出洲外務次官 会談 滿州鉄道問題ニ関スル出洲外務次官トコップ大使トノ会談要領……………五一六

二 二八 三月六日(着) 四九 在英國松井大使ヨリ幣原外務大臣宛(電報) 常任理事増員問題ニ関スル英國首相外相ノ下院ニ於ケル方針説明ノ件……………三三

七 二〇三 三月六日 四〇 幣原外務大臣ヨリ在浦潮渡辺総領事宛(電報) 貿易代表部設置交渉ノ経過及ビ國營商業部員ノ査証ノ取扱ニツキ回答ノ件……………二四七

一〇 二六五 三月六日 六六 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ幣原外務大臣宛(電報) 漁区追加問題ニ関スル交渉状況追報ノ件……………三五四



一〇	二六六	三月六日	六八	在ハバロフスク川角総領事代 幣原外務大臣宛(電報)	三漁区ノミ追加発表ノコトニ決定 シタル旨ソ連側ガ内話ノ件	三五五
二	二九	三月八日(着)	六	在ジュネーヴ石井連盟理事ヨ リ 幣原外務大臣宛(電報)	ポーランド常任理事国候補ニ関ス ルロカルノ条約署名国代表者会議 ニツキ報告ノ件	三四
四	一二八	三月八日	七	在ジュネーヴ(出張中)石井 大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	石井大使ヨリブリアン首相兼外相 ニインドシナ問題ニツキ配慮方要 請ノ件	一三六
一〇	二六七	三月六日	一五	幣原外務大臣ヨリ 在ハバロフスク川角総領事代 理宛(電報)	リユリー商会経営漁区租借形式ニ ツキノ連当局ニ照会方訓令ノ件	三五五
一〇	二六八	三月八日	七一	在ハバロフスク川角総領事代 理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	極革幹部会ニ於テ三漁区ノ追加決 定ノ旨報告ノ件	三五五
一〇	二六九	三月九日	四一	幣原外務大臣ヨリ 在浦潮渡辺総領事宛(電報)	漁区競売入札参加依頼ノ件	三五六
一〇	二七〇	三月九日	一六	幣原外務大臣ヨリ 在ハバロフスク川角総領事代 理宛(電報)	サハレン五漁区再追加ニツキノ連 側ト懇談方訓令ノ件	三五六
二	三〇	三月十日(着)	九	在ジュネーヴ石井連盟理事ヨ リ 幣原外務大臣宛(電報)	ポーランドノロカルノ条約批准留 保ニ関スル件	三五
一〇	二七一	三月十日	七四	在ハバロフスク川角総領事代 理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	国营企業ノ漁区租借ニツキノ連側 ニ聞合セタル結果報告ノ件	三五七
一〇	二七二	三月十日	七六	在ハバロフスク川角総領事代 理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	漁区兼追加ニツキノ連側ニ申入レ タル旨報告ノ件	三五七
二	三一	三月十二日(着)	一一	在ジュネーヴ石井全権ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	常任理事増員問題ニ関スル理事会 議事報告ノ件	三五
一〇	二七三	三月十二日	七八	在ハバロフスク川角総領事代 理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	サハレン漁区ハ魚族保護ノタメ閉 鎖シタル旨ノソ連側ノ談話報告ノ 件	三五八
二	三二	三月十三日(着)	一四	在ジュネーヴ石井全権ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	常任理事増員問題ニ関スル理事会 議事統報ノ件	三八
二	三三	三月十三日(着)	一五	在ジュネーヴ石井全権ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	ポーランド以外ノ非常任理事ノ選 出ハ九月総会マデ延期トノロカル ニストノ提案ニ対シドイトハ考慮 ノ上回答スル意向ナル件	四〇
二	三四	三月十三日(着)	四八	在米國松平大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	連盟常任理事増員問題ニ関スル米 國ノ新聞報道ニ関スル件	四一
二	三五	三月十四日(着)	一六	在ジュネーヴ石井全権ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	ドイツガロカルニストノ最後ノ案 ヲ拒否シタル件	四一
一〇	二七四	三月十四日	八〇	在ハバロフスク川角総領事代 理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	入札結果報告ノ件	三五八
二	三六	三月十五日(着)	一七	在ジュネーヴ石井全権ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	石井全権ガ理事会ニ妥協案ヲ提出 シタルコト及ビ議論マトマラズ更 ニドイトト交渉スルコトナリタ ル旨報告ノ件	四二
一〇	二七五	三月十五日	發四七	露領水産組合ヨリ 外務省通商局宛	入札結果報告ノ件	三五九
二	三七	三月十六日(着)	二一	在ジュネーヴ石井全権ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	常任理事増員問題ニ関スル理事会 議事報告ノ件	四四

二	三八	三月十六日(着)	一四九	在中国芳沢公使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	中国ノ常任理事国加入希望ハ問題 外トノ五国公使會議ノ空氛報告ノ 件	四五
二	三九	三月十七日(着)	二二	在ジュネーヴ石井全権ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	常任理事増員問題ニ関スル理事會 内談會ノ模様報告ノ件	四五
二	四〇	三月十七日(着)	二三	在ジュネーヴ石井全権ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	常任理事増員問題ノ審議ヲドイツ ヲ含メ九月總會マデ延期スルヨウ 提案スルニ決シタル件	四七
二	四一	三月十七日(着)	一七	在スペイン国太田公使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	常任理事問題ニ関スルスペイン皇 帝ノ感触及ビ同国内ノ新聞論調報 告ノ件	四八
二	四二	三月十八日(着)	二四	在ジュネーヴ石井全権ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	總會ニ於テ常任理事問題ノ審議ヲ 九月總會マデ延期ニ決シタル件	四九
二	四三	三月十八日(着)	二七	在ジュネーヴ石井全権ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	常任理事増員問題ニ関スル理事會 ニツイテノ所感報告ノ件	四九
二	四四	三月十八日	公四〇	在スペイン国太田公使ヨリ 幣原外務大臣宛	スペインノ常任理事被選希望問題 ノ経緯ニツキ報告ノ件	五〇
一〇	二七六	三月十八日	一九	幣原外務大臣ヨリ 在ハバロフスク川角総領事代 理宛(電報)	サハレン五漁区ハ東海岸ニアリ魚 族保護ノタメ閉鎖ノ要ナキ旨ソ連 側ニ申入方訓令ノ件	三六〇
二	四五	三月十九日	一九	在独伊藤臨時代理大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	ジュネーヴ會議決裂ニ関スル新聞 論調報告ノ件	五二
二	四六	三月十九日	三四	在ベルギー国安達大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	常任理事増員問題ニ関スルベルギ ー外相ノ新聞記者ニ対スル談話報 告ノ件	五三
二	四七	三月二十日(着)	五二	在英國松井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	ジュネーヴ會議ニ関スル英國ノ新 聞論調報告ノ件	五三
二	四八	三月二十日(着)	二〇	在独伊藤臨時代理大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	ジュネーヴ會議決裂後ノドイツ政 局ノ發展ニツキ報告ノ件	五五
二	四九	三月二十日(着)	二二	在独伊藤臨時代理大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	ジュネーヴ會議ニ関スルドイツ國 内ノ情報報告ノ件	五六
三	七一	三月二十日	連軍五〇	在バリ四王天代表ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員會及ビ軍事委員會開 催期日理事會ニ於テ決定セル旨通 知ノ件	七九
九	二三三	三月二十日		露領林業組合ヨリ 二瓶欧米局第一課長宛	梅浦代表ヨリ送付アリタル林業利 權契約新ソ連政府案写送付及ビ梅 浦代表ノ意見申進ノ件	三二六
一一	三五八	三月二十日	公二三〇	在米松平大使ヨリ 幣原外務大臣宛	米國議會ニ提出サレタル露國承認 決議案ニ関スル件	四五二
一一	四二三	三月二十日	七〇	在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	イワノフ一行ノ旅行日程等ニ関シ 報告ノ件	五一九
一〇	二七七	三月二十一日	八四	在ハバロフスク川角総領事代 理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	追加漁区ニ当業者ノ入札無カリシ コトニソ連側ガ不満ナル旨報告ノ 件	三六一
六	一五八	三月二十四日	六	在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	連邦議會ニ排日決議案提出サレタ ル旨報告ノ件	一七五
一	一	三月二十五日(着)	九六	在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	ドイツ政府ヨリ同国民ニ対スル 補償金ノドーズ年金ヨリ支払方ヲ 仲裁裁判ニ付スベキ旨申出ノ件	一

付記 昭和二年一月二十七日着在オランダ國三宅臨時代理公使発

幣原外務大臣宛電報第八号

右補償金ノドーズ年金ヨリ控除方ノ可否ニ関スル仲裁裁判

開始ノ件

二

別 電一 同年一月二十七日在オランダ国三宅臨時代理公使発幣原

外務大臣宛電報第九号

右仲裁裁判ニ於ケルドイツ側ト賠償委員会側ノ口頭弁論  
要旨

.....二

二 同年一月二十九日在オランダ国三宅臨時代理公使発幣原  
外務大臣宛電報第一一号

賠償委員会側勝訴ノ件

.....三

二 五〇 三月二十五日(着)

五四

在英国松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

英国下院ニ於ケル連盟理事會ノ問  
題ノ討議ニツキ報告ノ件

.....五七

一〇 二七八 三月二十五日

八九

在ハバロフスク川角総領事代  
理ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

サハレン漁区ノ追加競売ハ断念サ  
レタキ旨ノソ連側ノ意向報告ノ件

.....三六一

二 三三七 三月二十五日

本七五

在独伊藤臨時代理大使ヨリ  
幣原外務大臣宛

イズヴェスチャ紙ノ質問ニ対スル  
独国議會各党領袖ノ意見報告ノ件

.....四〇四

三 七二 三月二十七日

条三機密  
五六

幣原外務大臣ヨリ  
杉村連盟事務局次長宛

軍縮會議準備委員會代表委員ニ対  
スル訓令案送付ノ件

.....七九

一〇 二七九 三月二十七日

八六

在浦潮渡辺総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

航海証書所持ノタメ抑留セラレ  
タル鍊積取船ニツキソ連当局トノ  
交渉結果報告ノ件

.....三六二

二 五一 三月三十一日

普通六〇

在スウェーデン国永井公使ヨ  
リ  
幣原外務大臣宛

ジュネーヴニ於ケルスウェーデン  
外相ノ措置振りニ関スル論争ニツ  
キ報告ノ件

.....五八

四 月

六 一五九 四月一日

機密公  
二九

在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛

「ルミュー」協約改訂ニ関スルカ  
ナダ政府対案送付ノ件

.....一七六

付屬書 三月三十一日付キング首相ヨリ松永総領事宛書簡寫

カナダ政府ルミュー協約改訂案

.....一七七

六 一六〇 四月二日

七

在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

ルミュー協約改訂ニ関シ三月三十  
一日キング首相ヨリカナダ側対案  
提示ノ件

.....一八〇

六 一六一 四月二日

八

在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

ルミュー協約改訂ニ関スルカナダ  
側対案ノ邦訳電送ノ件

.....一八〇

一〇 二八〇 四月二日

一五局  
三二〇

農林省水産局長ヨリ  
外務省通商局長宛

漁区追加競売ニツキソ連側ト交渉  
方依頼ノ件

.....三六三

二 五二 四月三日(着)

連六五

在バリ杉村連盟事務局次長ヨ  
リ  
幣原外務大臣宛(電報)

連盟理事會組織ニ関スル委員會委  
員ニ対スル訓令案ノ件

.....六一

九 二二九 四月四日

一二五

在ソ連邦田中大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

利権者ニ地質調査予行ノ権利ヲ提  
供スルコトニ利権本部難色ヲ示セ  
ル件

.....三一八

一三 四二四 四月五日

一二三

在奉天吉田総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

イワノフノ訪日延期等当地ソ連邦  
総領事館員ノ内話報告ノ件

.....五一九

一〇 二八一 四月八日

二三

幣原外務大臣ヨリ  
在ハバロフスク川角総領事代  
理宛(電報)

ソ連当局ノ出願漁区開發拒否ハ基  
本条約ノ規定違反ナルニヨリ漁区  
発表ニツキ重ネテソ連側ニ交渉方  
訓令ノ件

.....三六四

一〇 二八二 四月九日

機密六一

在ハバロフスク川角総領事代  
理ヨリ  
幣原外務大臣宛

地方漁業組合代表ニヨル特殊漁獲  
方法禁止要求ニ関スル新聞報道報  
告ノ件

.....三六四

二 五三 四月十日

一〇

幣原外務大臣ヨリ  
在オランダ国松田公使宛(電  
報)

連盟理事會組織ニ関スル委員會委  
員ニ松田公使ヲ任命ノ件

.....六二

付記 大正十五年四月

連盟理事團(主トシテ非常任理事團)選定方法ニ関スル諸提案表……………六三

四 一二九 四月十日 一二四 在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 日仏交渉再開期日報告ノ件……………一三六

四 一三〇 四月十二日 九五 在仏国石井大使宛(電報) 本件解決ニ好意的ナブリアンガ内閣ヲ組織シオル際ニ交渉促進ニ尽力ヲ要請ノ件……………一三七

一〇 二八三 四月十二日 一〇四 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 訓令ニ基ツキソ連側ニ漁区開設ヲ申入レタル旨報告ノ件……………三六五

六 一六二 四月十三日(着) 九 在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 三月三十一日付カナダ側対案ニ關スル所見申進ノ件……………一八二

一〇 二八四 四月十三日 一〇八 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 当業者代表ヨリモサハレン漁区開設方申請セシムルコトトシタル旨報告ノ件……………三六五

一〇 二八五 四月十三日 一〇九 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 實際ニ租借經營スル見込ヲ以テ入札参加スル漁区ノミ指図方要請ノ件……………三六六

一〇 二八六 四月十三日 二二三 外高秘 豊田福井県知事ヨリ 若槻内務大臣、幣原外務大臣他宛 沿海県沿岸ノ漁獲高制限問題ニツキ漁業家ノ談話報告ノ件……………三六六

四 一三一 四月十四日 公二六四 在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛 漢ノイ商業會議所名譽会頭グラヴィツツノ日本・インドシナ關係談話報告ノ件……………一三七

九 二三四 四月十四日 一三七 在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 梅浦代表ヨリ組合ニ対シソ連側ガ林区ノ変更ヲ申出タルニツキ會議ノ打切ヲ宣シタルモ妥協シタル旨報告ノ件……………三二七

付記 大倉組速水篤治郎発ニ瓶欧米局第一課長宛書簡 第一回予備會議ノ模様等ニ關スル梅浦代表ノ來状寫送付ノ件……………三二八

一〇 二八七 四月十五日 二八 在ハバロフスク川角総領事代理宛(電報) サハレン五漁区ハ必ず入札租借スル旨当業者代表ニ指示ノ件……………三六七

六 一六三 四月十六日 九三 機密 在ヴァンクヴァー河和領事ヨリ 幣原外務大臣宛 組合代表ヨリソ連側ニ漁区表ヲ呈示シ發表方ヲ要請シタル件……………三六七

一〇 二八八 四月十六日 一一〇 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) B・C州ニ於ケル鯨漁就働日本人ノ雇用禁止令ニ對スル試訴問題ニ關シ意見具申ノ件……………一八五

一一 三三八 四月十六日 一二九 在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 独ソ協約締結説ニ關スル仏国各紙論評ノ件……………四〇六

一一 三三九 四月十六日 三四 在独国伊藤臨時代理大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 独ソ條約ノ独国新聞論評ニ關シ同国外務省第四部長ノ談話報告ノ件……………四〇七

一三 四二五 四月十六日 一〇九 在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 張作霖ガカラハン大使ノ特權否認ノ通告ヲナシタル旨ノ新聞記事報告ノ件……………五一九

四 一三二 四月十七日 一三二 在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) フランス外務省ニ於テ開催セラレタル日仏通商會議ノ審議内容報告ノ件……………一三九

一一 三四〇 四月十七日 一三三 在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 独ソ條約ニ對スル仏国側ノ二様ノ見解報告ノ件……………四〇八

一三 四二六 四月十八日 一一〇 在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 東支理事會ガイワノフノ辭職トエムシヤールノフノ管理局長就任トラ承認シタル旨報告ノ件……………五二〇

四 一三三 四月十九日 六〇 通密 在ハイフォン管領事ヨリ 幣原外務大臣宛 ヴァレンヌ・インドシナ繪督トノ會談ニ關スル件……………一四〇

一三 四二七 四月十九日 一三一 在奉天吉田総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 張作霖ガカラハンニ対シ強硬ナル  
態度ニ出ヅルニ至リタル事情等ニ  
ツキ報告ノ件 五二〇

付記 四月五日鎌田満鉄奉天公所長ヨリ入江満鉄理事宛電報  
カラハンニ対スル態度ニ関スル張総司令ノ談話報告ノ件 五二一

一三 四二八 四月二十日 機密 二八四  
在ハルビン天羽総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛 セレブリヤコフ滞哈中ニ於ケル東  
支鉄道諸問題善後交渉ノ経緯報告  
ノ件 五二二

九 二二〇 四月二十一日 七一  
在アレクサンドロフスク鈴木  
総領事代理ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 利権契約実施ニ伴フ問題ヲソ連当  
局ト交渉ノタメ当業者代表常置方  
稟請ノ件 三一九

一一 三四一 四月二十一日 本一〇三  
在独伊藤臨時代理大使ヨリ  
幣原外務大臣宛 獨ソ新条約締結説及ビ各派新聞論  
調報告ノ件 四〇八

一三 四二九 四月二十一日(着) 一一一  
在ハルビン天羽総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 東支鉄道ニ対スルソ連側ノ態度変  
化ニ拘ラズ同鉄道ハ依然中ソ間ノ  
難問ト観測サレル旨報告ノ件 五二五

六 一六四 四月二十二日 六七  
在英國松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 英國外相ヲ通ジカナダ政府ヨリ日  
本人移民制限問題ノ解決ニ関シ本  
使ノ斡旋方ヲ依頼越シタル件 一八八

六 一六五 四月二十三日 機密公 二二九  
在英國松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛 カナダニ於ケル日本人移民制限問  
題ニ関スル英國政府覚書送付ノ件  
付屬書 四月二十二日付日本人移民制限問題ニ関スル英國政府覚書  
写 一八九

九 二二一 四月二十三日 合九四  
幣原外務大臣ヨリ  
在浦潮渡辺総領事、在アレク  
サンドロフスク鈴木総領事代  
理各宛(電報) 利権契約実施ニ伴フ問題ノソ連当  
局トノ交渉ハデキル限り当業者自  
ラ事ニ当ルヨウ達示方取計ヲヒタ  
ル件 三一九

一一 三四二 四月二十三日 七〇  
在英國松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 獨ソ新条約ニ関シ英外相チェンバレ  
ン談話ノ件 四一四

一一 三四三 四月二十三日 公二二八  
在英國松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛 獨ソ新条約ニ於ケル英國政府意見  
ニ関シ議會ニ於ケル質疑応答報告  
ノ件 四一五

一一 三四四 四月二十六日 三七  
在獨伊藤臨時代理大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) セレブリヤコフト張作霖トノ会見  
ニ関スル于冲漢ノ内話報告ノ件 五二六

一一 三四五 四月二十七日 四〇  
在獨伊藤臨時代理大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 獨ソ条約ノ調印ニツキ報告ノ件 四一六

一一 三四六 四月二十七日 普通 三〇六  
在ハルビン天羽総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛 獨ソ条約ニ対スル關外諸派ノ新聞  
論評報告ノ件 四一六

一一 三四七 四月二十七日 公二一一  
在滿州里田中領事ヨリ  
幣原外務大臣宛 イワノフ帰國通過ニ関シ報告ノ件 五二七

六 一六六 四月二十八日 一三  
在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 下院ノ形勢ニ鑑ミルミュール協約改  
訂ニ関スル我が方対案至急決定方  
請訓ノ件 一九一

一一 三四八 四月二十八日 四一  
在獨伊藤臨時代理大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 獨ソ条約ノ獨國議會ニ於ケル討議  
報告ノ件 四一七

一一 三四九 四月二十九日 九七  
在ソ連邦田中大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) ソ連邦ノ中国ニ対スル態度緩和ニ  
ツキ通報ノ件 五二八

一一 三四〇 四月二十九日 一五五  
在米國松平大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 獨ソ条約ニ対スルソ連紙ノ論評報  
告ノ件 四一八

一一 三四一 四月三十日 八八  
在米國松平大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 獨ソ条約締結ニ関スル米紙論評報  
告ノ件 四一八

五月

一一	三四九	四月三十日	公二〇二	在浦潮渡辺総領事ヨリ 幣原外務大臣宛	ウラジヴオストックニ於ケル新聞 記事報告ノ件	四一九
一一	三五〇	四月三十日	公一〇九	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛	独ソ中立条約訳文送付ノ件	四二一

付記 独ソ中立条約経過概要(欧米局第二課作成調書)……………四二三

六	一六七	五月一日	一四	在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	排日決議案提出阻止方カナダ側ニ 申入レ並ビニ下院ノ形勢ニツキ報 告ノ件	一九二
---	-----	------	----	----------------------------	-------------------------------------------	-----

一一	三五一	五月一日	一五六	在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	独ソ条約ヲ研究セル仏国外務省ノ 措置ニツキ報告ノ件	四二八
六	一六八	五月二日(着)	一五	在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	排日問題ニ関スル議會ノ事態急迫 ノ事情等ヲ首相ヨリ種々聴取ノ件	一九三
六	一六九	五月三日	九	幣原外務大臣ヨリ 在オタワ松永総領事宛(電報)	ルミュー協約改訂交渉再開方及ビ 交渉方針等ニツキ訓令ノ件	一九五

別電 五月三日幣原外務大臣宛在オタワ松永総領事宛別電第一〇  
号  
三月三十一日カナダ側提議ニ対スル日本側覚書案……………一九六

一一	三五二	五月三日	公四七	在チエッコスロヴァキア国 菊池公使ヨリ 幣原外務大臣宛	ベネシニ外相声明ニ関スル記事送 付ノ件	四二八
----	-----	------	-----	-----------------------------------	------------------------	-----

一一	三五三	五月五日	公三一九	在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛	独ソ新条約ニ関スル仏国新聞論調 報告ノ件	四三〇
----	-----	------	------	----------------------	-------------------------	-----

六	一七〇	五月六日	一七	在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	下院ニ於テパーバーヨリ日本人問 題調査委員会設置要望提出サレタ ル件	一九八
---	-----	------	----	----------------------------	------------------------------------------	-----

八	二二二	五月六日	一六三	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	ソヴィエトハ目下欧州方面ニ忙殺 サレ極東ニ対シテハ積極的行動ヲ 避ケ静観的態度ヲトル模様觀察報 告ノ件	三一一
---	-----	------	-----	---------------------------	--------------------------------------------------------------	-----

九	二二二	五月六日	一六一	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	石油ノ輸出問題等ニ関スル外務部 ヨリノ回答書報告ノ件	三二〇
一一	三五四	五月六日(着)	七九	在英國松井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	独ソ条約ニ関スル英國各紙ノ論調 報告ノ件	四三四

一三	四三四	五月六日	一五六	在奉天吉田総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	東支鉄道問題ヲ繞ル奉ソ會議ニツ イテノ干渉漢ノ談話要領報告ノ件	五二九
----	-----	------	-----	---------------------------	------------------------------------	-----

六	一七一	五月七日	一八	在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	日本人移民制限ニ関スルカナダ側 提案ニ対スル日本政府回答書ヲ キング首相ニ手交ノ件	一九九
六	一七二	五月七日	公機三七	在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛	日本人移民制限ニ関スル五月七日 付日本政府覚書送付ノ件	一九九

九	二二三	五月七日	一六四	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	付属書 右同キング首相宛日本政府覚書……………一九九	一九九
九	二二四	五月七日	一六五	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	外務部ヨリ輸出石炭ノ支払問題ニ 関シ問合せノ件	三二〇

一三	四三五	五月七日	一六六	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	外務部ヨリ当業者ニ対スル諸般ノ 措置ニツキ回答アリタルニヨリ関 係者ヘ伝達方依頼ノ件	三二一
					セレブリヤコフノ訪日目的及ビ北 滿鉄道ノゲージ問題等ニ関スルチ チエリンノ談話報告ノ件	五二九

三 七三 五月 八日 機密一六 在仏国堀海軍大佐ヨリ  
大角海軍次官、斎藤軍令部次  
長各宛(電報)……………八二

一〇 二八九 五月 九日 八六 在アレクサンドロフスク鈴木  
総領事代理ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)……………三六八

二 五四 五月 十日 二三 幣原外務大臣ヨリ  
在スペイン国太田公使宛(電  
報)……………六五

五 一五四 五月 十日 駐日米國大使マクヴェイ会談  
若槻総理大臣……………一六八

一三 四三六 五月 十一日 出淵次官、木村重細亜局  
長 大平満鉄副社長 会談  
滿蒙鉄道敷設方針ニ関スル会談要  
領……………五三〇

九 二三五 五月 十二日 一七六 在ソ連邦田中大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)……………三三〇

一〇 二九〇 五月 十二日 九一 在アレクサンドロフスク鈴木  
総領事代理ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)……………三六八

一三 四三七 五月 十二日 一七七 在ソ連邦田中大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)……………五三二

一〇 二九一 五月 十四日 三三 幣原外務大臣ヨリ  
在ハバロフスク川角総領事代  
理宛(電報)……………三六九

一三 四三八 五月 十五日 一二七 在ハルビン天羽総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)……………五三三

一三 四三九 五月 十五日 出淵次官  
在本邦ゴップン連邦大  
使・セレブリヤコフ交  
通次長 会談  
滿州問題ノ意見交換ニ関スル件……………五三三

一三 四四〇 五月 十七日 幣原外務大臣 会談  
在本邦汪中国公使……………五三四

一〇 二九二 五月 十八日 一二五 在ハバロフスク川角総領事代  
理ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)……………三六九

一三 四四一 五月 十八日 出淵次官・木村重細亜  
局長他  
在本邦ゴップン連邦大  
使・セレブリヤコフ交  
通次長他 会談  
滿蒙ニ於ケル鉄道問題ニ関スル日  
ソ間ノ会談要領(第一回會談)……………五三六

三 七四 五月 十九日 連軍四八 在ジュネーヴ四王天、堀兩代  
表ヨリ  
幣原外務大臣、宇垣陸軍大臣、  
財部海軍大臣各宛(電報)……………八三

三 七五 五月 十九日 五一 在ジュネーヴ松田委員ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)……………八三

三 七六 五月 十九日 五三 在ジュネーヴ松田委員ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)……………八四

三 七七 五月 二十日 五七 在ジュネーヴ松田委員ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)……………八四

三 七八 五月 二十一日 九七 在米國松平大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)……………八六

四 一三四 五月二十一日 通一機密  
幣原外務大臣ヨリ  
在仏国石井大使宛  
インドシナ条約問題ニ関スル今後  
ノ方針松島書記官ニ携行セシムル  
旨通報ノ件……………一四一

六 一七三 五月二十一日 二〇  
在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
日本人移民制限ニ関シキング首相  
ヨリカナダ側回答書ヲ手交及ビ  
同覚書ノ問題点ニツキ交渉ノ件……………二〇三

六 一七四 五月二十一日 二一  
在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
日本人移民制限ニ関スル五月二十  
日付カナダ政府覚書ノ邦訳電送ノ  
件……………二〇五

六 一七五 五月二十一日 機密  
公 四六  
在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛  
日本人移民制限ニ関スル五月二十  
日付カナダ政府覚書写送付ノ件……………二〇八

九 二二六 五月二十一日 一九五  
在ソ連邦田中大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
梅浦代表ヨリ組合ニ対シ森林利権  
契約ニ伴フ諸問題ニツキ報告ノ件……………三三一

一三 四四二 五月二十一日 九二  
出淵次官・木村亜細亜  
局長他  
在本邦コップソ連邦大  
使・セレブリヤコフ交  
滿蒙ニ於ケル鉄道問題ニ関スル日  
ソ間ノ会谈要領(第二回会谈)  
……………五四四

三 七九 五月二十二日 九九  
在米松平大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
軍縮準備委員会及ビ第二海軍制限  
会議開催地ノ日本側提議ニ関スル  
米大統領スポークスマン言明ノ件……………八六

三 八〇 五月二十二日 一〇〇  
在米松平大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
A P通信ノ伝エル内容ハ誤解ニツ  
キ之ヲ一掃アル必要アル旨申進ノ  
件……………八七

三 八一 五月二十二日 五九  
在ジュネーヴ松田委員ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
A P通信ノ推定理由及ビ東京ニ於  
テ何等カノコメント發表ノ必要ア  
ル旨申進ノ件……………八七

一〇 二九三 五月二十二日 一二六  
在ハバロフスク川角総領事代  
理ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
交渉続行ノタメ至急当業者代表派  
遣方組合ニ申入レタキ旨要望ノ件……………三七〇

一三 四四三 五月二十二日 一三六  
幣原外務大臣・出淵次  
官  
在本邦コップソ連邦大  
使・セレブリヤコフ交  
通次長  
別 電 同日松田委員發幣原外務大臣宛電報第六〇号  
シャキー提示ノロイター電報……………八八

三 八二 五月二十三日 六二  
在ジュネーヴ松田委員ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
起草委員会ニ於テ問題集第一問カ  
ラ第五問マデノ討議及ビ各國ノ態  
度報告ノ件……………八八

六 一七六 五月二十三日 二三  
在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
日本人移民制限ニ関スル五月二十  
日付カナダ政府覚書ニ対スル所見  
申進ノ件……………二二二

三 八三 五月二十四日 二一  
在ジュネーヴ松田委員ヨリ  
幣原外務大臣宛(電  
報)  
海軍問題分離説ニ関スル我方ノ  
意向ヲ米代表ニ伝達方訓令ノ件……………八九

三 八四 五月二十四日 合二一四  
幣原外務大臣ヨリ  
在米松平大使及在ジュネー  
ヴ松田委員宛(電報)  
軍縮準備委員会事業ニ対スルステ  
ートメント送付ノ件……………九〇

三 八五 五月二十四日 六六  
在ジュネーヴ松田委員ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)  
米代表ギブソント会谈ノ結果米國  
側ニ誤解ナキ旨判明シタル件……………九〇



別電 五月二十五日在ジュネーヴ松田委員發幣原外務大臣宛電報

第六七号

米大統領スポークスマン言明ノテキスト

九一

一〇 二九四 五月二十四日 一二七 在ハバロフスク川角総領事代  
理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 所得稅徵收ノ件ガモスクワニ於テ  
決定シタル旨ノソ連当局ノ回答通  
報ノ件 三七〇

一一 三五五 五月二十五日 公二七五 在英國松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛 報告ノ件 獨ソ中立條約ニ關スル英國ノ世論  
報告ノ件 四三四

三 八六 五月二十七日 二三 幣原外務大臣ヨリ  
在ジュネーヴ松田委員宛(電  
報) 軍縮準備委員會ニ於ケル海軍軍縮  
問題ニ關シ米國大使ト会谈ノ件 九二

三 八七 五月二十七日 七四 在ジュネーヴ松田委員ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 軍縮委員會ハ起草委員會ノ報告ヲ  
議了及ビ小委員會審議ノ現狀予定  
ニツキ報告ノ件 九二

六 一七七 五月二十八日 二四 在オタワウ松永總領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 妻子呼寄ノ資格並ビニ商人・店員  
ノ入國問題ニ關スルカナダ側解釈  
及ビ同問題ニ對スル所見申進ノ件 二一六

一〇 二九五 五月二十八日 一一八 在ハバロフスク川角總領事代  
理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 徵稅問題ニ關スル決定内容ニ疑義  
アルタメモスクワニ於テソ連側ト  
交渉ノ上行違ナキヨウ取計フコト  
適當ナル旨申進ノ件 三七一

一〇 二九六 五月二十八日 一三〇 在ハバロフスク川角總領事代  
理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) サガレンニ於ケル漁区發表問題ハ  
條約實施ニ關スル問題ニツキ交渉  
ヲモスクワニ移スコト適當ト思ハ  
ル旨申進ノ件 三七二

四 一三五 五月二十九日 一五七 幣原外務大臣ヨリ  
在仏國石井大使宛(電報) インドシナ稅率交渉問題ニ關シ訓  
令ノ件 一四五

三 八八 五月三十日 機密一八 在ジュネーヴ堀海軍大佐ヨリ  
大角海軍次官、野村軍令部次  
長宛(電報) 軍縮準備委員會ノ当初ニ於テ巡洋  
艦制限方式ニ關シ英伊各代表言及  
ノ件 九三

一一 三五六 五月三十一日 本一三七 在德國伊藤臨時代理大使ヨリ  
幣原外務大臣宛 獨ソ新條約ノ成立及ビ右派新聞論  
調報告ノ件 四四〇

六 月

一〇 二九七 六月一日 一二七 幣原外務大臣ヨリ  
在ソ連邦田中大使宛(電報) 本邦漁業者ニ對スル所得稅等ノ賦  
課撤廢ニツキノソ連邦政府ニ對シ交  
渉方訓令ノ件 三七二

一〇 二九八 六月一日 一三三 在ハバロフスク川角總領事代  
理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 漁区發表ニツイテハ當業者代表ト  
協議ノ上決定スベキ旨ノソ連側ノ  
談話報告ノ件 三七三

一〇 二九九 六月一日 一三五 在ハバロフスク川角總領事代  
理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 北樺太西海岸ノ漁区ハ布度稅ヲ支  
払フコトニヨリ一年ヲ限リ分与サ  
レタル旨ノソ連側ノ回答報告ノ件 三七四

一三 四四四 六月一日 機密  
四〇九 在ハルビン天羽總領事ヨリ  
幣原外務大臣宛 奉ソ會議ノ經過ニツキ報告ノ件 五六六

二 五五 六月二日(着)連一〇九 在仏國石井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 常任理事増員問題ニ關スル理事會  
ニ於ケル方針ニツキ請訓ノ件 六五

三 八九 六月三日 官房機密  
五九 在大角海軍次官ヨリ  
在ジュネーヴ堀海軍大佐宛  
(電報) 巡洋艦ノ艦型問題ニツイテハ意見  
留保方訓令ノ件 九四

四 一三六 六月三日 一九三 在仏國石井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 本邦提案ノ審議結果報告ノ件 一四六

付記 仏領印度支那三閩スル交渉経過概要(大正十四年十一月以降)……………一四七

六 一七八 六月三日 一五 幣原外務大臣ヨリ 在オタワ松永総領事宛(電報)……………二一七

六 一七九 六月三日 一六 幣原外務大臣ヨリ 在オタワ松永総領事宛(電報)……………二一八

九 二二五 六月三日 二一四 在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………三二二

五 一五五 六月四日 一六六 普通 ヨリ 在ニュー・ヨーク斎藤総領事 幣原外務大臣宛……………一七〇

六 一八〇 六月五日 二二五 在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………二二〇

六 一八一 六月五日 二二六 在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………二二一

一三 四四五 六月五日(著) 一八三 在奉天吉田総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………五六九

一三 四四六 六月九日 一四〇 在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………五七〇

五 一五六 六月十一日 公三三九 在サン・フランシスコ武富総領事ヨリ 幣原外務大臣宛……………一七二

六 一八二 六月十一日 二九 在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………二二二

一 二 六月十二日 二〇九 在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………三

三 九〇 六月十二日 連軍五〇 在ジュネーヴ陸海軍代表ヨリ 幣原外務、宇垣陸軍、財部海軍各大臣宛(電報)……………九四

四 一三七 六月十二日 一六七 幣原外務大臣ヨリ 在仏国石井大使宛(電報)……………一四九

一〇 三〇〇 六月十三日 一四七 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………三七五

二 五六 六月十四日 公三一九 在英国松井大使ヨリ 幣原外務大臣宛……………六六

一〇 三〇一 六月十四日 一五一 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)……………三七五

一三 四四七 六月十四日 機密 四五三 在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛……………五七一

一 三 六月十五日 条三機密 四八七 出淵外務次官ヨリ 田大蔵次官宛……………四

一 四 六月十六日 一七〇 幣原外務大臣ヨリ 在仏国石井大使宛(電報)……………五

一 五 六月十七日 官房秘丙 二〇 田大蔵次官ヨリ 出淵外務次官宛……………五

六 一八三 六月十七日 二〇 幣原外務大臣ヨリ 在オタワ松永総領事宛(電報)……………二二二

日本入移民制限ニ関スル我方方針ノ修正及ビ留意点等回訓ノ件……………二二二

ドルズ年次金中ノ可動年金ノ確定的支払承認ニ関シ異議ナキ旨回答ノ件……………五

ドルズ年次金中ノ可動年金ノ確定的支払ニ関シ意見照会ノ件……………四

奉ソ會議ノ停頓ニ至ル経過ニ関シ報告ノ件……………五七一

競売ハ浦潮ニ於テ施行サルル旨報告ノ件……………三七五

三 九一 六月十八日 機密一九 在ジュネーヴ堀海軍大佐ヨリ  
大角海軍次官、野村軍令部次  
長宛(電報) 海軍制限方式ニ関シ我方ノ折衝  
方針ニツキ請訓ノ件……………九五

一〇 三〇二 六月十八日 公九六 在ハバロフスク川角総領事代  
理ヨリ 幣原外務大臣宛 北樺太東海岸競売漁区表送付ノ件……………三七五

三 九二 六月十九日 機密二〇 在ジュネーヴ堀海軍大佐ヨリ  
財部海軍大臣宛(電報) 海軍問題ニ関スル米國提案要領報  
告ノ件……………九六

六 一八四 六月十九日 三〇 在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 日本人移民制限ニ関スル我が方回  
答覚書ヲカナダ側ニ手交ノ旨報告  
ノ件……………二二四

六 一八五 六月十九日 公機密 四九 在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛 日本人移民制限ニ関スル六月十八  
日付我が方覚書送付ノ件……………二二四

三 九三 六月二十二日 官房機密 六四 大角海軍次官ヨリ  
在ジュネーヴ堀海軍大佐宛  
(電報) 海軍制限方式ニ関シテハ既訓令ノ  
通りナル旨指示ノ件……………九六

一〇 三〇三 六月二十二日 一五四 在ハバロフスク川角総領事代  
理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 漁獲制限ニ関シソ連側トノ交渉経  
過報告ノ件……………三七六

六 一八六 六月二十三日 公五〇 在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛 連邦議会上院ニ於ケルB・C州選  
出ニール議員ノ排日演説大要報告  
ノ件……………二二九

七 二〇四 六月二十四日 一三七 幣原外務大臣ヨリ  
在ソ連邦田中大使宛(電報) 通商代表ニ関スル交渉成立ニツキ  
通報及ビ代表部員ノ旅券ノ取扱ニ  
ツキ訓令ノ件……………二四七

七 二〇五 六月二十四日 九一 幣原外務大臣ヨリ  
在浦潮渡辺総領事宛(電報) 通商代表ニ関スル交渉成立ニ伴フ  
代表部員ノ旅券ノ取扱ニ関シ訓令  
ノ件……………二四八

一〇 三〇四 六月二十五日 一六一 在浦潮渡辺総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) 競売結果報告ノ件……………三七七

一〇 三〇五 六月二十六日 発二二八 露領水産組合ヨリ  
外務省通商局宛 サガレン漁区競売結果報告ノ件……………三七七

六 一八七 六月二十九日 三一 在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報) マツケンジー・キング自由党内閣  
総辞職ノ旨報告ノ件……………二三〇

四 一三八 六月三十日 一七九 幣原外務大臣ヨリ  
在仏国石井大使宛(電報) インドシナ税率協定問題ニ関シ追  
加訓令ノ件……………一五〇

一三 四四八 六月三十日 機密 四九 在ハルビン天羽総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛 日ソ間ノ対滿政策ニ関スルクラコ  
ウエツキ総領事ト大蔵満鉄理事  
トノ会谈要領送付ノ件……………五七三

付属書 六月三十日付大蔵満鉄理事ヨリ天羽総領事宛  
大蔵満鉄理事・クラコウエツキ在奉天ソ連邦総領事トノ  
談話要領送付ノ件……………五七四

七月

七 二〇六 七月一日 通一機密 七九五 幣原外務大臣ヨリ  
在ソ連邦田中大使、在浦潮渡  
辺総領事、在ハバロフスク川  
角総領事代理各宛 通商代表ニ関スル協定成立ニツキ  
通報ノ件……………二四八

付属書一 通商代表部ニ関スル記録書……………二四九

二 右訳文……………二五二

三 通商代表部ニ関スル記録書説明書……………二五三

付記一 一月七日通商代表問題ニ関シ幣原外務大臣トコップ大使  
及ビヤンソントノ会见要領……………二五七

二	二月二十二日通商代表問題等ニ関シコツプ大使ト出淵外務次官トノ会談要領	二六一
三	三月二十七日通商代表問題ニ関シ大臣トコツプ大使トノ会見要領	二六七
四	四月六日通商代表問題ニ関シ大臣トコツプ大使トノ会見要領	二七三
五	五月五日通商代表問題ニ関シ大臣トコツプ大使トノ会見要領	二八〇
六	五月十五日大臣トコツプ大使及ビセレブリヤコフ交通次長トノ会見要領	二八五
七	六月二十一日通商代表問題等ニ関シ大臣トコツプ大使トノ会見要領	二八六
八	七月五日大臣トコツプ大使トノ会見要領	二八七
九	通商代表部ニ関スル露国各開協定比較	二九四
一〇	在日ソ連邦通商代表部付利権委員会ニ関スル規定	二九七
一三	在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	一五八
四	在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	二二二
六	幣原外務大臣ヨリ 在オタワ松永総領事宛(電報)	二二
六	在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	三二
九	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	二七五
一〇	在浦潮渡辺総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	一六八
六	在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	三三
一〇	在浦潮渡辺総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	一七一
一〇	在浦潮渡辺総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	一七三
一〇	在ハバロフスク川角総領事代 理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	一六二
九	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	一四九
九	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	一五〇
四	幣原外務大臣ヨリ 在仏国石井大使宛(電報)	一八九
七	外務省告示案	
九	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	二八四
七	幣原外務大臣ヨリ 浜口内務大臣ヨリ 江木司法大臣宛	二〇八
七	通一機密 二〇八三	

九 二四〇 七月十三日 二九三 在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 林業利権交渉ニツキチエリントノ会见結果報告ノ件……………三三三

八 二二三 七月十四日 五三六 在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛 当地新聞ニ現ハレタルコップ大使ノ談話報告ノ件……………三一

九 二四一 七月十五日 二九八 在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 代表団ヲ解散シ梅浦、瀨沼兩人殘留ノ件……………三三四

一〇 三二〇 七月十五日 一五八 幣原外務大臣ヨリ 在ソ連邦田中大使宛(電報) 制限外漁獲許可ニツキ地方当局ニ対シ至急訓電方ソ連当局ニ督促アリタキ件……………三八一

一〇 三二一 七月十五日 一六八 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 所得税、均等税ノ課税方針ニ関スルソ連当局ノ情報報告ノ件……………三八一

一〇 三二二 七月十五日 一六九 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 漁場用品ノ課税問題ニ関スル暫定処置ニツキ極東外貿全權ノ談話報告ノ件……………三八二

一〇 三二三 七月十七日 一七〇 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 制限外漁獲ニツキ未ダ容認サレザル旨報告ノ件……………三八三

一〇 三二四 七月十九日 三〇八 在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 標準高以上漁獲セントスル際ハ極東漁業庁ニ届出ツル様ソ連側ヨリ回答アリタル旨報告ノ件……………三八四

四 一四一 七月二十三日 二五四 在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 仏側提案ノ新税率ニ関スル件……………一五三

九 二四二 七月二十三日 二四二 合名会社大倉組ヨリ 二瓶欧米局第一課長宛 労働法改正問題等交渉経過ニ関スル梅浦代表ノ報告写送付ノ件……………三三四

一〇 三二五 七月二十三日 一七六 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 制限外漁獲問題ニツキ当該官憲ニ対シ訓令済ナル旨ノ外務部ノ通知通報ノ件……………三八四

八 二二四 七月二十五日 公一九四 在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛 日ソ兩國ノ経済関係ニ関スルコップ大使ノ会见談話報告ノ件……………三一四

一三 四五〇 七月二十五日 閱電 三六一 齋藤関東軍参謀長ヨリ 金谷参謀次長宛(電報) 奉ソ予備会議再開ニ決定セル由報告ノ件……………五七六

一〇 三二六 七月二十六日 一七七 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 制限外漁獲問題ニツキ中央ヨリノ電訓未着ノ件……………三八五

一〇 三二七 七月二十七日 一九六 在浦潮渡辺総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) ノフトノ交渉結果報告ノ件……………三八五

七 二〇九 七月二十八日 外務省ヨリ 在本邦ソ連邦大使館宛 通商代表部神戸及ビ函館支部開設期日ニツキ了承シタル旨通報ノ件……………二九九

一〇 三二八 七月二十九日 一九九 在浦潮渡辺総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 制限外漁獲許可方詮議中ニツキ然ルベク処置ヲ漁業庁ヨリ出先官憲ニ電命ノ旨報告ノ件……………三八六

一 六七 七月三十一日 二六九 在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 独国賠償現金ノ第二年度分配予定額ニ関スル件……………五

三 九四 七月三十一日 機密五四 在英大使館付豊田海軍武官ヨリ 大角海軍次官、野村軍令部次長各宛(電報) 英米海軍関係者ヨリ聴取シタル主要事項報告ノ件……………九六

八月

一〇 三一九 八月二日 一八〇 在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 漁場用品ノ課税問題ニツキ中央ニ請訓中ナル旨及ビ沿海区ニ対スル暫定処置ニツキソ連側ヨリ文書ヲ以テ回答アリタル件……………三八七

一〇	三三〇	八月三日	一八二	在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	漁業庁ニ於テ請願未処理ノ旨報告ノ件	……三八七
一〇	三三一	八月四日	二〇三	在浦潮渡辺総領事ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	制限外漁獲ニツキゴロフスコイト当業者トノ会谈内容報告ノ件	……三八八
一三	四五一	八月四日(着)	四九二	在中國壩臨時代理公使ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	東三省交渉総署張參議ト中央政府トノ会谈ニ関スル新聞報道転電ノ件	……五七七
三	九五	八月六日	一〇九	在ジュネーヴ杉村連盟事務局長ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	フランスノ海軍制限方式提案ニ関スル件	……九八
一〇	三三二	八月六日	一八三	在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	地方官憲ニ於テ訓令未着ノ理由ヲ以テ解決ヲ為サザルニ於テハ根本ニ立帰リテ交渉スベキ旨ノ口上書ヲ外務部ニ提出セル旨報告ノ件	……三八八
四	一四二	八月七日	二二〇	幣原外務大臣ヨリ	在仏国石井大使宛(電報)	インドシナ税率協定問題ニツキ交渉方針訓令ノ件	……一五三
一	七	八月九日	公五七三	在仏国石井大使ヨリ	幣原外務大臣宛	付記 大正十四年八月十二日關係省係官會議決定 インドシナ関税問題交渉方針	……一五四
三	九六	八月十日	一一一	在ジュネーヴ杉村連盟事務局長ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	ドーズ年金第一年度債権額分配表送付ノ件	……六
一〇	三三三	八月十日	一八五	在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	第一小委員会第四問ノ研究ヲ終レル旨報告ノ件	……一〇〇
三	九七	八月十一日	一一二	在ジュネーヴ杉村連盟事務局長ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	標準高ヨリノ引上希望過大ノタメ承認シ難キ旨ノマモノフノ談話報告ノ件	……三八九
一〇	三三四	八月十一日	二〇九	在浦潮渡辺総領事ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	第四問ニ関シ成立セル決議ノ要旨報告ノ件	……一〇一
三	九八	八月十三日	一一六	在ジュネーヴ杉村連盟事務局長ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	制限高ノ増加ヲ強要セザルコト得策ニ非ズヤトノ当業者代表ノ意見伝達ノ件	……三八九
三	九九	八月十三日	一一七	在ジュネーヴ杉村連盟事務局長ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	海軍制限方式ニ関スル米國提案報告ノ件	……一〇二
九	二四三	八月十四日	一一三	在幣原外務大臣ヨリ	在ソ連邦田中大使宛(電報)	第一項(二)ニ関シ米國委員懇談ノ件	……一〇三
一〇	三二五	八月十四日	一八八	在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	組合ヨリ梅浦代表ニ交渉方針指示ノ件	……三三六
一〇	三二六	八月十五日	一八九	在ハバロフスク川角総領事代理ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	制限外漁獲許可問題ハ完全ニ調整ズミトノ外務部ノ報告通報ノ件	……三九〇
三	一〇〇	八月十九日	一四八	在米國松平大使ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	五漁区ノミニツキ超過漁獲ヲ許可サレタル旨報告ノ件	……三九〇
三	一〇一	八月二十日	一四九	在米國松平大使ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会ニ関スルケロツグ米國務長官ノ演說報告ノ件	……一〇三
三	一〇二	八月二十日	一一一	在ジュネーヴ杉村連盟事務局長ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	ケロツグ長官演說ニ関スルAP通信報道ノ件	……一〇四
三	一〇二	八月二十日	一一一	在ジュネーヴ杉村連盟事務局長ヨリ	幣原外務大臣宛(電報)	第六問題審議ノ概要報告ノ件	……一〇五

一〇 三二七 八月二十日 在浦潮渡辺総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(暗送電報) 五漁区ノミノ許可ハ不滿ナルモ事 実上支障ナク漁獲サレ居ル模様ナ 三九一

九 二四四 八月二十一日 在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 梅浦代表ヨリ利権局ノ讓歩案ニツ キ報告ノ件 三三七

一〇 三二八 八月二十二日 在ハバロフスク川角総領事代 理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 外務部ニ対シ地方官憲ノ不当措置 撤回ニツキ至急訓令方申入レタル 旨報告ノ件 三九二

三 一〇三 八月二十四日 在ジュネーヴ杉村連盟事務局 長ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 空軍分科会ニ於ケル審議及ビ可決 事項報告ノ件 一〇六

一 八 八月二十五日 在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 独国賠償現金ノ第二年度本邦受領 額ニ関スル件 六

一三 四五二 八月二十六日(着) 二〇〇 在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 張作霖ノ東支鉄道船舶没収命令 領報告ノ件 五七七

五 一五七 八月二十八日 公六二五 在米國松平大使ヨリ 幣原外務大臣宛 日米戦争説ト英國ノ立場ニ関スル バイウオーターノ論說報告ノ件 一七三

九 二二七 八月二十八日 三七二 在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 地質予備調査ノ許可拒絶ニ関スル 件 三二二

一三 四五三 八月二十八日(着) 二〇二 在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 張煥相ガ特別区内教育權ヲ教育管 理局ノ管轄ニ移ス旨布告シタル件 五七八

一三 四五四 八月二十八日 支五一 在中國公使館付本庄陸軍武官 ヨリ 金谷參謀次長宛(電報) カラハンノ召還ニ関シ報告ノ件 五七八

一〇 三二九 八月三十一日(着) 一九九 在ハバロフスク川角総領事代 理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 超過漁獲物没収問題ニツキ交渉経 過報告ノ件 三九二

付記一 八月二十八日露領水産組合発在ハバロフスク長尾代表宛 電報 三九三

二 八月三十一日在ハバロフスク長尾代表發露領水産組合宛 電報 三九三

一二 三五九 八月三十一日 三七六 在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) ソ連邦ノ外交問題ニ関スルプラウ ダ紙ノ論說報告ノ件 四五三

九 月

二 五七 九月一日 一 在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 非常任理事問題第二議案ニツキ 報告ノ件 六七

一〇 三三〇 九月一日(着) 二〇一 在ハバロフスク川角総領事代 理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 超過漁獲物没収問題ニツキ交渉ノ 結果積出許可方了解ヲ得タル件 三九四

二 五八 九月二日 三 在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 常任理事問題ニ関スル委員会ノ討 議ニツキ報告ノ件 六七

二 五九 九月二、三日 六 在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 非常任理事問題第二議案採択ニ 至レル經過報告ノ件 六九

三 一〇四 九月二日 四 在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 空軍分科会ニ於ケル民間航空機ノ 軍事的価値ニ関スル決議報告ノ件 一〇七

九 二四五 九月二日 三八一 在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 梅浦代表ヨリ組合ニ対シ林区ノ選 択ニツキ意見ヲ求ムル件 三三七

二 六〇 九月三日 七 在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報) 付記 大倉組速水篤治郎發ニ瓶欧米局第一課長宛書簡 三三七

ソ連側ノ林区讓歩等ニ関スル梅浦代表ノ私信写送付ノ件 三三七

付録 日本外交文書 大正十五年 第一冊 日付索引 七 委員会報告案ノ審議ニツキ報告ノ 件 七二

三	一〇五	九月三日	八	在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	制限方式ニ關スル一般原則トシテ 海軍分科会ノ採用シタル決議ノ要 旨報告ノ件	一〇八
一三	四五五	九月三日	二〇六	在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	船舶等ノ引渡要求ニ對スル東支鉄 道側ノ対策ニ關スル沈鴻烈等ノ内 談報告ノ件	五七九
二	六一	九月四日	一一	在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	理事会ニ於テ理事會構成問題研究 委員會ノ報告ニ基ツク決議案採扱 ノ件	七二
一三	四五六	九月四日	三八五	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	東支鐵道船舶及ビ學務課等ニ對ス ル奉天側ノ要求ニ對シソ連邦政府 抗議ノ件	五七九
一三	四五七	九月五日	三八八	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	張作霖ノ東支鐵道压迫問題ヲ中心 トスルチチュエリントノ会谈内容報 告ノ件	五八〇
二	六二	九月八日	二〇	在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	ドイツノ連盟加入、同國ヲ常任理 事國ニ指定及ビ非常任理事國増加 ノ件等總會ニ於テ可決セラレタル 件	七三
一三	四五八	九月八日	三九七	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	東支鐵道ニ對スル奉天側ノ要求ニ ツキソ連邦政府ヨリ重ネテ抗議ノ 一トヲ送り越シタル件	五八三
一	九	九月九日	二九七	在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	第三年度ドーズ年金ノ本邦受領權 利額ニ關スル件	七
三	一〇六	九月九日	二四	在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	海軍分科会ノ採用シタル全噸數制 限方式ノ綱領及ビ利点ニ關スル決 議ノ要旨報告ノ件	一〇九
二	六三	九月十六日(着)	三五	在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	理事選舉規定案總會ニ於テ採扱ノ 件	七三
二	六四	九月十六日	三九	在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	非常任理事選舉ノ結果報告ノ件	七四
一二	三六〇	九月十六日	三四九	在ニュー・ヨーク齋藤總領事 ヨリ 幣原外務大臣宛	「エディー」視察團ノ勞農露國承 認説及ビソノ反響報告ノ件	四五四
三	一〇七	九月十七日	四〇	在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	空軍制限方式ニ關スル空軍分科会 ノ決議要旨報告ノ件	一一一
一三	四五九	九月十七日(着)	二二三	在ハルビン天羽總領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	滿鉄・東支鐵道間ノ運賃問題ニ關 シ東支側ヨリ協議ヲ申出タル件	五八四
一〇	三三一	九月十八日	公一五六	在ハバロフスク川角總領事代 理ヨリ 幣原外務大臣宛	極東沿海州ノ農民漁業ニ關スル機 関紙記事報告ノ件	三九四
一三	四六〇	九月十八日	二二七	在ハルビン天羽總領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	于冲漢ガ劉尚清ニ代リ東支督弁ニ 就任シタル旨報告ノ件	五八五
二	六五	九月十九日(着)	四五	在ポーランド國井上臨時代理 公使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	ポーランドノ半常任席獲得ニ關ス ル新聞論調報告ノ件	七五
一三	四六一	九月二十二日	機密 七四一	在ハルビン天羽總領事ヨリ 幣原外務大臣宛	東支・滿鉄兩鐵道ノ協議ニ關シ報 告ノ件	五八五
一三	四六二	九月二十四日	二三八	在ハルビン天羽總領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	滿鉄側ハ東支トノ会商ヲ運賃問題 ニ局限スル方針ナル旨等ニツキ報 告ノ件	五八六
三	一〇八	九月二十五日	五二	在ジュネーヴ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員會事業ニ關スル連盟 總會ノ決議報告ノ件	一一二
				別電 九月二十五日在ジュネーヴ會議全權齋幣原外務大臣宛電報 第五二号		
				右決議		一一三



三	一〇九	九月二十五日	五四	在ジュネーブ會議全權ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮會議ニ臨ミテ日英米三国間ノ 意見取纏メタシト米国公使申出ノ 件……………一一三
八	二一五	九月二十五日	四三五	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	ソ連邦外務部ソノ他ノ有力者トノ 会见ヨリ得タル印象ニツイテノゾ ルフ大使ノ内話報告ノ件……………三一六
一三	四六三	九月二十六日(着)	二四二	在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	東支督弁就任挨拶ノタメ来訪セル 于冲漢ノ談話報告ノ件……………五八六
一二	三六一	九月二十八日	普通 三九二	在ニュー・ヨーク齋藤総領事 ヨリ 幣原外務大臣宛	労働露国承認ニ関スル「エディ」 視察団ノ建議書発表ノ件……………四五四
一三	四六四	九月三十日	公七五一	在奉天吉田総領事ヨリ 幣原外務大臣宛	東支鉄道船舶及ビ教育権回收ニ関 スル張作霖ヨリ外交部宛電報報告 ノ件……………五八七

十月

四	一四三	十月一日	二五五	幣原外務大臣ヨリ 在仏国石井大使宛(電報)	第一回貿易會議ニ於ケル彼我交渉 ニ関シ各方面ノ希望モアリ一層ノ 尽力方要請ノ件……………一五六
一〇	三三二	十月一日	二二四	在ハバロフスク川角総領事代 理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	漁獲標準高引下ゲノ要アル旨ノ極 執幹部員ノ談話報告ノ件……………三九七
四	一四四	十月二日	三一九	在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	外相及ビ商務相ニ対シ交渉促進方 要望シタル旨報告ノ件……………一五九

付記 仏領印度支那ニ関スル日仏商議近況  
(大正十五年九月二十一日作成)……………一五六

一二	三六二	十月四日	普通 四〇六	在ニュー・ヨーク齋藤総領事 ヨリ 幣原外務大臣宛	露国承認ヲ求メル「エディ」使 節団ノ建議書ヲ繞ル新聞論調報告 ノ件……………四五五
三	一一〇	十月六日	一三五	在ジュネーブ杉村連盟事務局 長ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	軍事予算ヲ以テスル制限問題ニ関 スル第一小委員会採決案ノ要旨報 告ノ件……………一一五
八	二二六	十月九日	三三二	在ノヴォ・シビルスク島田領 事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	ノヴォ・シビルスク通過ノカラハ ンノ内話報告ノ件……………三一六
一	一〇	十月十二日	公七〇二	在仏国石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛	第三年度賠償債権分配ノ本邦割当 額ニ関スル件……………七
一三	四六五	十月十六日	二六三	在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	于冲漢ノチヨールスイフソ連邦代 理大使トノ會談ニ関スル談話報告 ノ件……………五八八
三	一一一	十月十八日	一三六	在ジュネーブ軍代表ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	各国軍備ノ比率ヲ定ムル要素ニ関 スル第五問ニ対スル第一小委員会 ノ成案大要報告ノ件……………一一六
三	一一二	十月十八日	一三七	在ジュネーブ軍代表ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	地方的軍備縮小ニ関スル第七問ニ 対スル第一小委員会ノ成案報告ノ 件……………一一七
三	一一三	十月十八日	一三八	在ジュネーブ軍代表ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	海軍分科会ノ報告中ニ全噸數制限 ノ利点ニ対スル日英米アル ゼンティン及ビチリ共同ノ反対意 見併記ノ旨報告ノ件……………一九
四	一四五	十月十八日	二六七	幣原外務大臣ヨリ 在仏国石井大使宛(電報)	商務相トノ會談及ビ同會談ニ基ツ ク交渉促進ニ関スル意見報告方指 示ノ件……………一六〇

三 一一四 十月十九日 一三九 在ジュネーブ軍代表ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

日、英、米三案ヲ一括シテ艦種別  
制限方式トシ日、英、米、アルゼ  
ンティン及ビチリ五国共同案トシ  
海軍分科会ニ提出ノ旨報告ノ件

四 一四六 十月十九日 三三六 在仏国石井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

プリアン外相トノ会谈ニヨリ商務  
大臣ノ意向確認ノ件

一三 四六六 十月十九日 二六九 在ハルビン天羽総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

中国官憲ノ東支鉄道中央図書館等  
ノ臨検及ビ新聞雜誌書類等押収ニ  
関シ報告ノ件

一三 四六七 十月十九日 二七〇 在ハルビン天羽総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

チヨールヌイフ代理大使ガ張作霖  
ニ面会ヲ拒絶セラレタリトノ東方  
電ノ反響ニ関スル件

三 一一五 十月二十一日 一四五 在ジュネーブ軍代表ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

空軍分科会ニ於テ制限方式ノ研究  
ノ結果得タル成案ノ大要報告ノ件

三 一一六 十月二十四日 一四七 在ジュネーブ軍代表ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

海軍分科会ニ於テ審議終了セル海  
軍特有ノ制限方式ノ要旨報告ノ件

三 一一七 十月二十九日 一五〇 在ジュネーブ軍代表ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

海軍分科会ノ制限方式ニ関シ概要  
報告ノ件

六 一九一 十月三十日 一九四 在英國松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

キングカナダ首相トノ会見ニ際シ  
日本人移民制限問題等ノ留意点ニ  
ツキ請訓ノ件

十一月

六 一九二 十一月三日 二六 幣原外務大臣ヨリ  
在オタワ松永総領事宛(電報)

ルミュー協約改訂商議ノ留意点回  
訓ノ件

六 一九三 十一月三日 四〇 在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

キング首相トノ会見ニ於ケル日本  
人移民制限問題ニツキ留意事項等  
在英國大使へ通報ノ件

八 二一七 十一月三日 三〇一 幣原外務大臣ヨリ  
在ソ連邦田中大使宛

日ソ間ノ国交ニ関スル在本邦ソ連  
邦代理大使ト出淵次官トノ会谈要  
領送付ノ件

六 一九四 十一月四日 八二 在オタワ松永総領事ヨリ  
幣原外務大臣宛

日系漁者漁業鑑札削減問題ニ関シ  
カナダ漁業省漁政局長トノ会谈結  
果報告ノ件

三 一一八 十一月五日 一五一 在ジュネーブ軍代表ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

第一説会決議トハ別個ノ報告ニ案  
ヲ併記セルモノヲ準備委員会ニ報  
告スルコトトナリタル旨報告ノ件

三 一一九 十一月五日 一五二 在ジュネーブ軍代表ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

海軍制限方式及ビ商船ノ軍事的価  
値ニ関スル第二説会ノ経過大要報  
告ノ件

一〇 三三三 十一月五日 二二六 在ハバロフスク川角総領事代  
理ヨリ  
幣原外務大臣宛

本邦漁業者ニ対スル所得税、均等  
税賦課問題ニ関スル書簡ノ交換ニ  
ツキ報告ノ件

一〇 三三四 十一月八日 四〇九 在暹春田中分館主任ヨリ  
幣原外務大臣宛

ポシエット湾近海ニ於ケル鯨漁禁  
止ニツキ報告ノ件

六 一九五 十一月九日 二〇〇 在英國松井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

英帝國会議出席ノタメ滯英中ノキ  
ング首相ト移民問題及ビ日加親善  
関係ニツキ会谈ノ件

三 一二〇 十一月十日 連二三二 在パリ宇佐美連盟事務局長代  
理ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

民用機ト軍用機トノ區別ハ可能カ  
否カニ関スル第六問ニツイテノ第  
一小委員会ノ審査結果報告ノ件

一〇 三三五 十一月十一日 機密  
二三三 在ハバロフスク川角総領事代  
理ヨリ  
幣原外務大臣宛

本邦漁業者ニ対スル課税問題ニツ  
キ再度書簡ヲ交換セル旨報告ノ件

一四	四七四	十一月十一日	合二一九	幣原外務大臣ヨリ 在米國松平、在仏國石井各大 使他宛(電報)	天皇御不例ニ関スル宮内省発表通 報ノ件	五九六
三	一一一	十一月十二日	連二二四	在パリ宇佐美連盟事務局長代 理ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	空軍ノ制限方式ニ関スル第一委員 会ノ審議報告ノ件	一三〇
四	一四七	十一月十三日	三六八	在仏國石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	延引ヲ重ネタル商務相トノ会谈期 日ニ関シ先方ヨリ通報アリタル件	一六一
六	一九六	十一月十五日	機密公 八六	在オタワ松永総領事ヨリ 幣原外務大臣宛	B・C州ニ於ケル日系漁業制限問 題ニ関シ意見具申ノ件	二三六
一三	四六八	十一月二十一日	四九二	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	東支鉄道ノ新副理事長ラシオーヴ イチノ経歴ニ関スルチチェリンノ 談話報告ノ件	五九〇
一三	四六九	十一月二十三日	二九七	在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	奉ソ關係ノ緊張トソ紙論調ニ鑑ミ 今後ノ局面変化ニ考慮ヲ要スル旨 具申ノ件	五九〇
三	一一二	十一月二十四日	三七六	在仏國石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会ヘノソ連ノ参加勸 誘ニツキ訓令方要請ノ件	一三一
一〇	三三六	十一月二十四日	通二普通 一五七	幣原外務大臣ヨリ 在浦潮渡辺総領事宛	ポシエツト湾近海ニ於ケル鱈漁禁 止ニツキ真偽確認方訓令ノ件	四〇三
四	一四八	十一月二十七日	三八一	在仏國石井大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	商務省ニ於ケル日仏専門家会谈ノ 状況報告ノ件	一六一
一二	三六三	十一月二十九日	五〇五	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	各国トノ外交關係ニ論及セルチチ ェリン演說要旨報告ノ件	四五六

十二月

三	一一三	十二月一日	二九四	幣原外務大臣ヨリ 在仏國石井大使宛(電報)	軍縮準備委員会ヘノソ連参加ニ関 スル我が方ノ態度指示ノ件	一三一
九	二四六	十二月三日	五一一	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	条項全部協定議了ノ件	三三九
一三	四七〇	十二月六日	機密 九三〇	在ハルビン天羽総領事ヨリ 幣原外務大臣宛	東支鉄道問題ヲ繞ル奉ソ間ノ交渉 経緯報告ノ件	五九一
一	一一	十二月八日	公八三六	在仏國松島臨時代理大使ヨリ 幣原外務大臣宛	第二年度ドーズ年金分配訂正表送 付ノ件	一〇
一	一一	十二月八日	公八三七	在仏國松島臨時代理大使ヨリ 幣原外務大臣宛	ドーズ年金ノ第三年度本邦受領額 ニ関スル件	一四
一二	三六四	十二月八日	本二七五	在獨國長岡大使ヨリ 幣原外務大臣宛	チチェリンノ新聞記者トノ会見談 話報告ノ件	四五六
一三	四七一	十二月八日	二九	在獨國長岡大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	チチェリンガ記者会見ニ於テ國民 党躍進ノ意義ヲ強調シ東支鉄道ノ 權利固守ヲ言明シタル旨報告ノ件	五九四
六	一九七	十二月九日	機密公 四三三	在ヴァンクーヴァー河相領事 ヨリ 幣原外務大臣宛	B・C州ニ於ケル日系漁業制限問 題ニ関シ意見具申ノ件	二四二
九	二二八	十二月十日	五一七	在ソ連邦田中大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	石油試掘地域決定期限ヲ延長シタ キニツキ右ニ関シ回訓方稟請ノ件	三二三
四	一四九	十二月十一日	四一一	在仏國松島臨時代理大使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)	キルシエー関稅局長ニ対シ仏國側 提案督促ノ件	一六三

一三 四七二 十二月十四日 三二三 在ハルビン天羽総領事ヨリ  
東支鉄道問題ヲ繞ル奉ソ交渉ハ中国南方戦局ニ急激ナル変化ナキ限リ平穩裡ニ終止スルト予測セラレル旨報告ノ件……………五九四

九 二四七 十二月十七日 五二五 在ソ連邦田中大使ヨリ  
梅浦代表ヨリ送金及ビ両替ヲソ連国立銀行ノミニ限定セントスルソ連側ノ提案ニヨリ交渉不調トナリタル旨報告ノ件……………三三九

四 一五〇 十二月十八日 四二三 在仏国石井大使ヨリ  
新インドシナ税率ニ関シキルシエー関税局長言明ノ件……………一六三

九 二四八 十二月十八日 五二六 在ソ連邦田中大使ヨリ  
送金及ビ両替機關ヲソ連国立銀行ニ限定スル件ニツイテハ反駁困難ナル旨報告ノ件……………三三九

一四 四七五 十二月十八日 合二四八 幣原外務大臣ヨリ  
在来国松平、在仏国石井各大使他宛  
天皇御容態ニ関シ統報ノ件(一)……………五九六

九 二四九 十二月十九日 五二七 在ソ連邦田中大使ヨリ  
梅浦代表ヨリ契約破棄ヲ覚悟シ引揚ヲ決行スル旨報告ノ件……………三四〇

六 一九八 十二月二十二日 二八 幣原外務大臣ヨリ  
ルミュー協約改訂商議ノ基本方針ニツキ訓令ノ件……………二四四

一三 四七三 十二月二十二日 機密 九六三 在ハルビン天羽総領事ヨリ  
中国官憲ニ依ル東支中央図書館臨検ト職員拘引ニ関シ報告ノ件……………五九五

九 二二九 十二月二十四日 五三四 在ソ連邦田中大使ヨリ  
石油試掘地域決定期間延長ニ先方異存ナク公文交換ヲ了シタル件……………三二三

一四 四七六 十二月二十五日 合二六二 幣原外務大臣ヨリ  
天皇御容態ニ関シ統報ノ件(二)……………五九六

一四 四七七 十二月二十五日 合二六五 幣原外務大臣ヨリ  
天皇崩御通報ノ件……………五九七

一四 四七八 (昭和元年) 十二月二十五日 合二七二 幣原外務大臣ヨリ  
改元、半旗、喪期、喪服、廢朝、国旗掲揚ニ関スル件……………五九七

付記 十二月二十五日官報号外 詔書……………五九七

一四 四七九 十二月二十五日 宮一 一木宮内大臣ヨリ  
幣原外務大臣宛  
天皇大葬ノ儀ニ関シ各國ヨリ皇族又ハ特使等派遣ヲ申出ノ際ハ辞退スルヨウ關係筋へ予メ訓達方申進ノ件……………五九八

付記一 昭和二年一月十一日宮内省ニ於ケル大喪使儀式部會議席上田淵次官ヨリ提出ノ諸案件……………五九九

二 同年一月十八日着在中國芳沢公使ヨリ幣原外務大臣宛電報第九三号  
楊宇霆ハ御大葬参列ノ意志強固ナル旨觀測並ニ之ヘノ対応振リニツキ稟請ノ件……………六〇一

三 同年一月二十一日幣原外務大臣ヨリ在上海矢田在漢口高尾各総領事宛電報合第三四号  
御大葬参列ノタメ楊宇霆来朝ヲ希望並ニ之ニ対スル措置振リ訓令ノ件……………六〇二

四 同年一月二十四日汪駐日公使木村重雄局長會談……………六〇二  
五 同年一月三十一日幣原外務大臣ヨリ在中國芳沢公使宛電報第九三号  
此ノ際汪公使ヲ特派大使又ハ使節ニ任命セラルレハ好都合ニツキ先方ニ右督促方訓電ノ件……………六〇三

六 同年二月一日在中國芳沢公使ヨリ幣原外務大臣宛電報第一六七号  
大總統令ヲ以テ汪公使ヲ御大葬特派大使ニ任命ノ件……………六〇三

七	同年三月一日一木宮内大臣ヨリ幣原外務大臣宛官発第一七七号	六〇三
八	先帝崩御並ニ新帝陛下踐祚ヲ各国元首へ通牒スル親書ニ関スル件 同年三月二十三日幣原外務大臣ヨリ在英国松井大使宛人普通第三二号 大正天皇弔祭式ニ際シ御親電往復ノ件	六〇四
九	同年四月十九日在米國松平大使ヨリ幣原外務大臣宛公第一二四二号 大正天皇崩御並ニ新帝陛下ノ踐祚ヲ報ズル御親書捧呈及ビ大統領ノ答翰等ニ関スル件	六〇六
七	在浦潮渡辺総領事ヨリ 幣原外務大臣宛	三〇〇
九	新任ソ連邦通商代表アニケーエフノ談話報告ノ件 梅浦代表ヨリ送金及ビ両替問題ニ関スル交渉状況報告ノ件	三四一
一四	在ロス・アンゼルス大橋領事ヨリ 幣原外務大臣宛	六〇七
付記一	昭和二年一月三日在オタワ松永総領事ヨリ幣原外務大臣宛公第一号 新帝陛下並ニ本邦ニ関スル新聞論説報告ノ件	六〇七
二	同年一月十八日在ベルギー國安達大使ヨリ幣原外務大臣宛普二六号 先帝陛下並ニ皇室ニ関スル記事報告ノ件	六〇八

<p>日本外交文書 大正十五年第一冊 (大正期第四十四冊) 不許複製 Documents on Japanese Foreign Policy 1926 Volume I</p>	<p>昭和六十年三月二十日 印刷 昭和六十年三月三十日 発行</p>
<p>外務省 編纂 外務省 発行</p>	<p>東京都千代田区神田佐久間町三ノ三七 印刷所 懶 文唱堂印刷所</p>